

熊本大学 脳神経内科

キャリア形成・専門医養成 特別プログラム

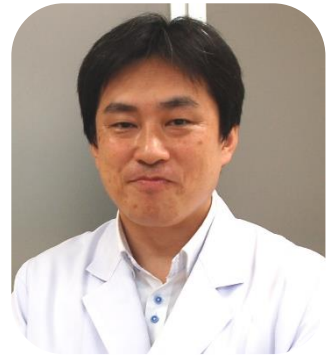
2023



芦北 うたせ舟

ご挨拶

熊本大学大学院生命科学研究部脳神経内科
教授 植田 光晴



熊本大学 脳神経内科 キャリア形成・専門医養成特別プログラムをご覧いただき心よりお礼申し上げます。

本格的な高齢化社会となり、脳神経内科に期待される役割は極めて大きくなっていますが、幸いにも熊本大学 脳神経内科は、長い歴史と実績を基盤として、高い専門性と幅広い診療を実践するメンバーが揃っています。また非常に充実した教育病院群を持つことは、我々が教育面で提供できる最も大きな財産です。急性期から慢性期、コモンディーズから希少難病まで、温和な先生方の下で安心して研鑽を積むことが出来ます。

脳神経内科の最も誇れるものは、知識と技術に基づいた正確な診断スキルです。脳神経内科医としてスペシャリストを目指す先生方に加えて、将来的に総合診療やプライマリケアを高いレベルで目指すジェネラリストの先生方も神経診察の習得は必須と考えます。当教室では、多様な研修が可能なプログラムを準備しています。

これまで脳神経内科領域の診療は、わからないことが多く、治療法も限られていました。しかし、医学の進歩と共に脳神経内科領域の診療は大きく変わろうとしています。将来的に神経疾患に対する治療選択は増えてきます。先進的な核酸医薬や、バイオ分子標的薬など、すでに多く実用化されています。脳血管障害に対する血管内治療の実践に伴い、脳卒中診療の常識は変わりました。これから、認知症に対する新規治療法が臨床応用され、神経難病に対する治療薬も開発されると思います。頭痛やてんかん診療も新しい治療薬の登場と共に大きく発展すると期待できます。

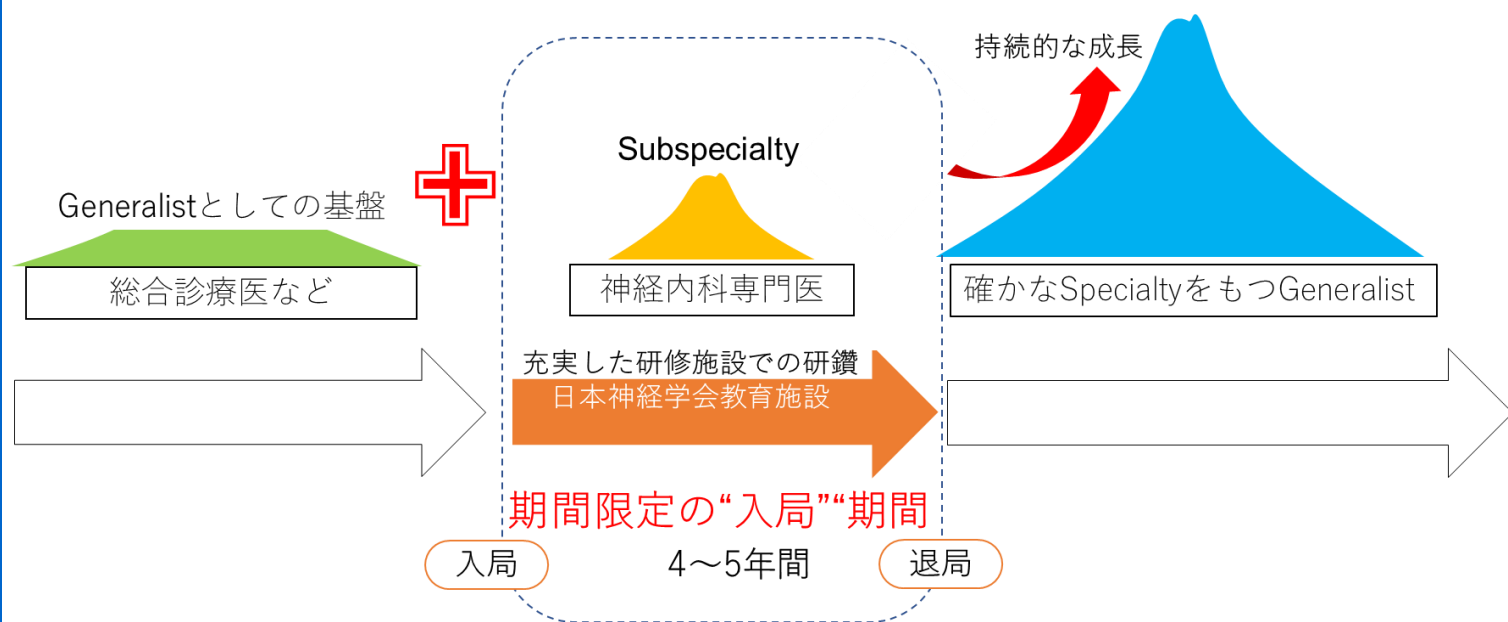
熊本大学 脳神経内科は、共に活動してくれる先生方が安心して研鑽を積み、充実した医師人生を過ごす一助となることを願っています。是非、仲間に加わって頂けることを心より願っております。



「神経内科専門医」養成 特別プログラムのご案内

-期間限定の研鑽で Subspecialty をプラスする選択-

総合診療医、救急医、一般内科・外科医など Generalist として既に研鑽を積まれてきた先生方を対象に、Subspecialty として脳神経内科の知識、技術を身に着け、「神経内科専門医」を効率的に取得いただく斬新なプログラムを開設いたしました。



日常診療でしばしば遭遇する神経系の Common disease に適切に対処でき、多彩な神経・筋疾患に対する専門性を持つこと，“神経内科専門医”を取得することは、大きな Upskilling, 持続的な成長につながります。このような「Specialty を持った Generalist」のニーズは非常に高く、治療・研究の進歩が目覚ましい神経領域を専門とすることは、将来性を高める選択です。

Win-Win

<参加する先生のメリット>
総合診療医として確かなsubspecialtyを得られる

<医局のメリット>
より大きな診療ネットワークを維持できる

専門医の取得には一定の期間、神経学会指定の施設での研修が必要であるため、従来、卒後に脳神経内科に“入局”して研鑽を積むコースが一般的でした。熊本大学脳神経内科と熊本県全域の充実した教育病院群のネットワークを活用することにより、皆様のこれまでのキャリアを生かし、安定して勤務しながら短期間（4～5 年程度）で効率的に専門医取得が可能です。従来の“入局”とは異なり、専門医取得後は“医局人事”に縛られることなく皆様が描かれる自由な将来設計を応援いたします。

熊本大学脳神経内科だからできること

◆ 熊本県全域の魅力的な教育病院群

熊本大学脳神経内科と関連病院では、急性期から慢性期、コモンディーズから希少難病まで、非常にバランス良く脳神経内科疾患の診療を学ぶことができます。充実した脳卒中急性期病院、神経難病拠点病院、リハビリテーション専門施設、地域拠点病院など、国内でも有数の教育病院群で脳神経内科専門医取得をサポートします。幅広い脳神経内科診療を高いレベルで実践することが出来る真の実力を得られると確信します。

<熊本大学脳神経内科の関連病院>

脳卒中急性期病院

済生会熊本病院
熊本赤十字病院
熊本医療センター
熊本市市民病院

難病拠点・協力病院

熊本再春医療センター
熊本南病院

リハビリテーションセンター

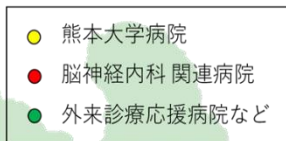
熊本機能病院
熊本託麻台リハビリテーション病院

地域中核病院

大牟田天領病院
荒尾市民病院
山鹿中央病院
杉村病院
西日本病院
くまもと南部広域病院
そよう病院
熊本総合病院
熊本労災病院
水俣市立総合医療センター
宇城総合病院

外来診療応援病院

玉名中央病院
阿蘇医療センター
熊本地域医療センター
天草地域医療センター
など



熊本大学病院



熊本医療センター



熊本赤十字病院



済生会熊本病院



熊本市市民病院



熊本再春医療センター



熊本機能病院



◆ 安定した勤務環境, 恵まれた生活環境

常勤スタッフとしての安定した勤務環境が保証されます。休日は、森と水の都くまもと熊本、阿蘇、天草など恵まれた環境でリフレッシュできます。

◆ 将来性, 専門医取得後の進路の自由度の高さ

脳神経疾患の診療は将来的にますます重要になります。専門医取得後は、医局に縛られることなく各人の進路を応援いたします。志向する専門性の研鑽、留学、開業などサポートします。

熊本で活躍する脳神経内科医のご紹介

松尾 淳一（平成 31 年 熊本大卒，熊本赤十字病院）

これまでの経歴と現在取り組んでいること

2019 年 3 月に熊本大学医学部卒業後，2 年間熊本赤十字病院で初期臨床研修を行い，熊本大学脳神経内科に入局し，現在熊本赤十字病院で勤務しています。脳神経内科医として最初の一年間は大学病院で研修させていただきましたが，非常に学ぶことが多く新鮮な毎日でした。脳神経内科の先生方は非常に尊敬できる方ばかりで，熱心に教えていただきました。

現在の目標としては，まずは脳神経内科および一般内科全般を万弁なくカバーできる知識と技術を身につけたいと思います。

脳神経内科を志望して思うこと

General と Special がいい塩梅で調和している科だと思います。

将来の目標

幅広く診療できるが，何か一つの分野で突出すること。

プログラムを検討中の先生へ一言

とにかく幅が広く，飽きることはおそらくないと思います。学生のころのイメージだと希少な疾患を見る診療科というイメージを抱く方もいらっしゃるかもしれませんが，脳血管障害やけいれんなどは救急外来で最も common な病気です。大学・市中病院に関わらずどこでも最前線で活躍する診療科だと思います。また，その中に隠れた珍しい疾患を見つけることができるのも魅力の一つだと思います。

初期研修の間に自分がやりたいことが絞り切れていない方，何でもとりあえずやってみたい方には特におすすめです。自分もそうでした。自分がやりたいことが決まればとことん突き詰めてもよし，幅広くやり続けてもよしだと思います。ぜひ一緒に働きましょう。



原田しずか（平成 29 年 宮崎大卒，済生会熊本病院）

これまでの経歴と現在取り組んでいること

宮崎大学を卒業後，地元である熊本に戻り，済生会熊本病院で初期研修医として勤務しました。神経疾患に興味を持ち，熊本大学脳神経内科に入局しました。熊本大学病院での勤務を経て現在は済生会熊本病院で働いています。

脳神経内科を志望して思うこと

学生時代より難しいと敬遠していた神経内科を専攻することになるとは自分でも驚きでした。実際に患者さんを診ながら神経診察の方法を学び，病巣を考えるプロセスが面白く感じました。やはり診断に辿りつくまで難しさがあり，時には自分では診断に辿りつけないことも多々あり未熟さを実感します。ただ，最近では原因がはっきりしない患者さんの診察ほど興味ややりがいを感じるようになってきたので，自分には神経内科が合っていたのだと思います。

将来の目標

神経疾患は幅広いため，様々な疾患を診れるように経験を積みながら，自分のライフワークを見つけていきたいです。

プログラムを検討中の先生へ一言

オンオフははっきりしていて，急性期病院でも意外と自分の時間は確保できます。飽きさせないと思いますので迷っている先生がいらっしゃったらまずは飛び込んでみてください。



同期と済生会熊本病院にて。
左から池袋先生，原田，川本先生。

今村 美智恵（平成 25 年 長崎大卒，熊本大学病院）

これまでの経歴と現在取り組んでいること

長崎大学を卒業後，長野県の諏訪中央病院で初期研修と一年間内科後期研修医として勤務しました。学生時代から脳神経内科に進むことは決めていましたが，一般内科医としての基礎を身に付けたいと考え，急性期から終末期，外来や往診と幅広く経験を積める病院で研修しました。4年目から当科へ入局し，大学病院や，難病拠点病院をローテートさせていただきました。現在は2回目の育休から復帰し大学病院で勤務しています。

脳神経内科を志望して思うこと

疾患が幅広く，まだ同じ疾患であっても患者さんによって経過や症候が様々であり，興味が尽きない科だと感じています。診断にたどり着くまでに難しさもありますが，その分やりがいと充実度を感じます。また，日々新しい検査や治療法も見つかっており，発展目覚ましい分野です。

将来の目標

まずは，多彩な神経疾患に対応できるよう，一つ一つの症例に向き合っていきたいと考えています。特に興味がある分野は神経免疫なので，研究なども含めて深めていきたいと考えています。

プログラムを検討中の先生へ一言

「難しい」と敬遠されがちな科かと思いますが，少しずつ経験を積む中で確実に自分の技術として成長を実感できる科です。現在私は育児があるため，時短で勤務していますが，その中でも専門医取得や病棟業務などキャリア形成できるように，対応いただいています。特に女性医師の場合家庭との両立に悩まれる方も多いと思いますが，色々な勤務形態での相談も可能です。ぜひ一緒に働きましょう。



田口 智朗（平成 26 年 熊本大卒，熊本大学病院）

これまでの経歴と現在取り組んでいること

大学卒業後，医師としての修練を奈良でさせていただきました。海外での神経科研修に憧れ，総合内科に所属しながら脳神経内科，脳神経外科，検査科などでの研修をさせていただきました。8年の修練を積み，令和4年度から熊本大学脳神経内科へ入局させていただきました。現在は熊本大学病院で専ら IVR 治療に関わらせていただいております。

脳神経内科を志望して思うこと

選考当初は内科研修で学んだ知識がほとんど役に立たず，神経科領域の独自性と難解さにただただ圧倒されておりました。診察一つをとっても，諸先輩方の診察をときに観察して，ときに指導を受け学ばせていただきました。その様は外科同様，徒弟制度といっても過言ではないとさえ思われました。しかしながら，そういった技術や知識が増えるとともに，不十分ながらも患者の問題点を抽出することができるようになり，病態を解釈し，治療に結びつけることができるようになってきているのではないかと思います。そのように成長プロセスを実感できるという意味で充実した日々を送ることができています。

将来の目標

General Neurologist を信条に，世の中に貢献ができるような仕事をできたらと思っています。

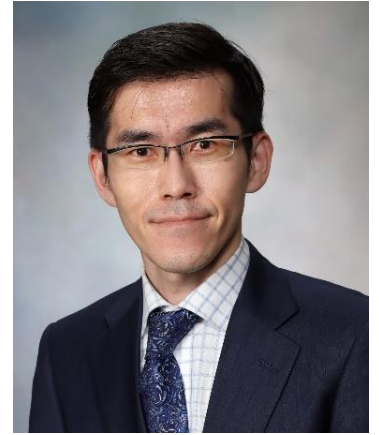
プログラムを検討中の先生へ一言

病院にもよりますが，二次救急までで言えば神経科領域の愁訴を呈する患者は非常に多くの割合を占めます。特に高齢化社会の煽りを受け患者数が増加している脳梗塞では，主幹動脈閉塞に対する IVR 治療が可能となり，患者予後が著しく改善しました。また，慢性疾患に関しても，近年では分子標的薬による免疫治療や核酸医薬による遺伝子治療も可能になってきており，治療可能な疾患が日々増えてきています。しかしながらまだまだ治療ができない疾患が多いことも事実であり，日々世界の研究者がその治療開発に心血を注いでいます。そのような昨今の実情を踏まえ，的確で迅速な診断と治療，さらに研究領域における我々神経科医の重要性はさらに高まっていると思います。日常診療でも，研究領域でも大きな役割を担うことができる脳神経内科で一緒に頑張っていきたいと思います。



井上 泰輝

(平成 16 年熊本大卒, 米国メイヨークリニック脳神経科学部門)



留学便り 「ここが私のアナザースカイ. Jacksonville, Florida」

2021 年 4 月よりフロリダ州ジャクソンビルにあるメイヨークリニック脳神経科学部門で新しく研究生活をスタートさせました. 感じたことを中心に, 「留学便り」とします.

ここフロリダキャンパスのメイヨークリニック・脳神経科学部門は緑に囲まれた美しい場所にあり, 常に全米トップ 3 にランクインしているクリニック・臨床部門との連携が強みといえます. ラボメンバーはテクニカルスタッフを含め, 30 人近くの大所帯で, 機器の予約し合いも壮絶です (笑). それぞれが独立した研究テーマをもらって進めてゆく形で, 時には分業体制をとる場面もあり, 他のメンバーを手伝うためのワークも与えられます. 手伝いとはいえ, それだけで莫大な実験量であったりします. 週 1 回のリサーチミーティングは 3 時間におよび (当然ですが全て英語です), ラボを主宰する Guojun Bu 先生は, 個々の研究に対して新たな視点や解釈そして次へのミッションを与えてくれます. その他にも週に数回, メイヨークリニック主催の米国内外の著名な研究者のレクチャーがオンラインで開催されます. 実験時間に重なることも多く, 全てを聴講することが難しいのですが, 国際学会でも聞くことができないような世界各地の最先端の知見に毎週のように触れる機会を得ています.

暑い気候ではありますが湿度が低く, 突き抜けるような青空が広がっており, 研究に行き詰まったときは外の芝生を 10 分程度散歩するだけでも, よい気分転換になります. 敷地内を走り回るリスや池のワニにも驚かなくなってきたので, その点では慣れてきたのかもしれません. 先日, 自身の進捗状況を初めてミーティングで発表しました. 仕事初めは, いったいどうなることかと極度の不安に襲われていましたが, 周りのメンバーからの温かいサポートを得たこと, そしてジャンプスタート, ハードワークをモットーに精力的に, 試行錯誤を重ねながら実験を進めていることもあり, 予想以上の結果と今後の研究の土台を固める発表となったことは大きな収穫でした. ご承知のように米国では NIH を初めとする多くのグラントがあり, それらをいかにして多く獲得してゆくかが極めて重要な課題です. ラボには凄まじい桁 (額) のグラントホルダーが在籍しており, ノウハウを平行して学んでいます. そのようなこともあって, 週末に家族との時間をゆっくり大切に過ごすという「理想?」の留学生活には, とうていほど遠いですが, そのあたりもこれからの課題だと感じています. 家族にはつくづく感謝しかありません. どこにもレジャーに行くことができなかったのですが, 先週ようやく近場のジャクソンビル・ビーチへ行ってきました. 数百キロも続く白い砂浜と温かい日差しにほんのひとときの安らぎを得て, 研究へのさらなる英気を養いました.

この建物の中が研究室



プログラムを検討中の先生へ一言

本文を読まれている皆さんが, 将来, 世界を驚かせる知見の第一発見者になっているかもしれません. 脳神経内科の研究は知的好奇心を刺激するワクワク, 面白さで満ち溢れています. 初期臨床研修の現場で悔しい思いをしたこと, わからなかったことは本当にありませんでしたか? わからなかったこと, 悔しかったことを脳神経内科へ入局して, 臨床研究や基礎研究で解明してゆきませんか? 私たちが今, 行っている治療は全て先人たちの研究へのひたむきな努力, 情熱によって見出された知見に立脚しているのです.

某プライベートジェット機の CM で流れたメッセージです.

「自分をもっともっと連れ出すんだ. Go! Vantage Point.」

脳神経内科で大きな夢を描き, 頑張っってゆきましょう.

病院見学・お問合せ窓口

熊本大学 脳神経内科キャリア形成・専門医養成特別プログラムについてご興味のある方、ご質問、見学のご希望などお気軽にご連絡ください。

熊本大学 脳神経内科学講座 三隅洋平（医局長）

Tel: 096-373-5893

E-mail: misumiy1@kuh.kumamoto-u.ac.jp



熊本大学大学院生命科学研究部
脳・神経科学分野 脳神経内科学講座

先端生命医療科学部門



〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号

TEL 096-373-5893（代表）

FAX 096-373-5895